

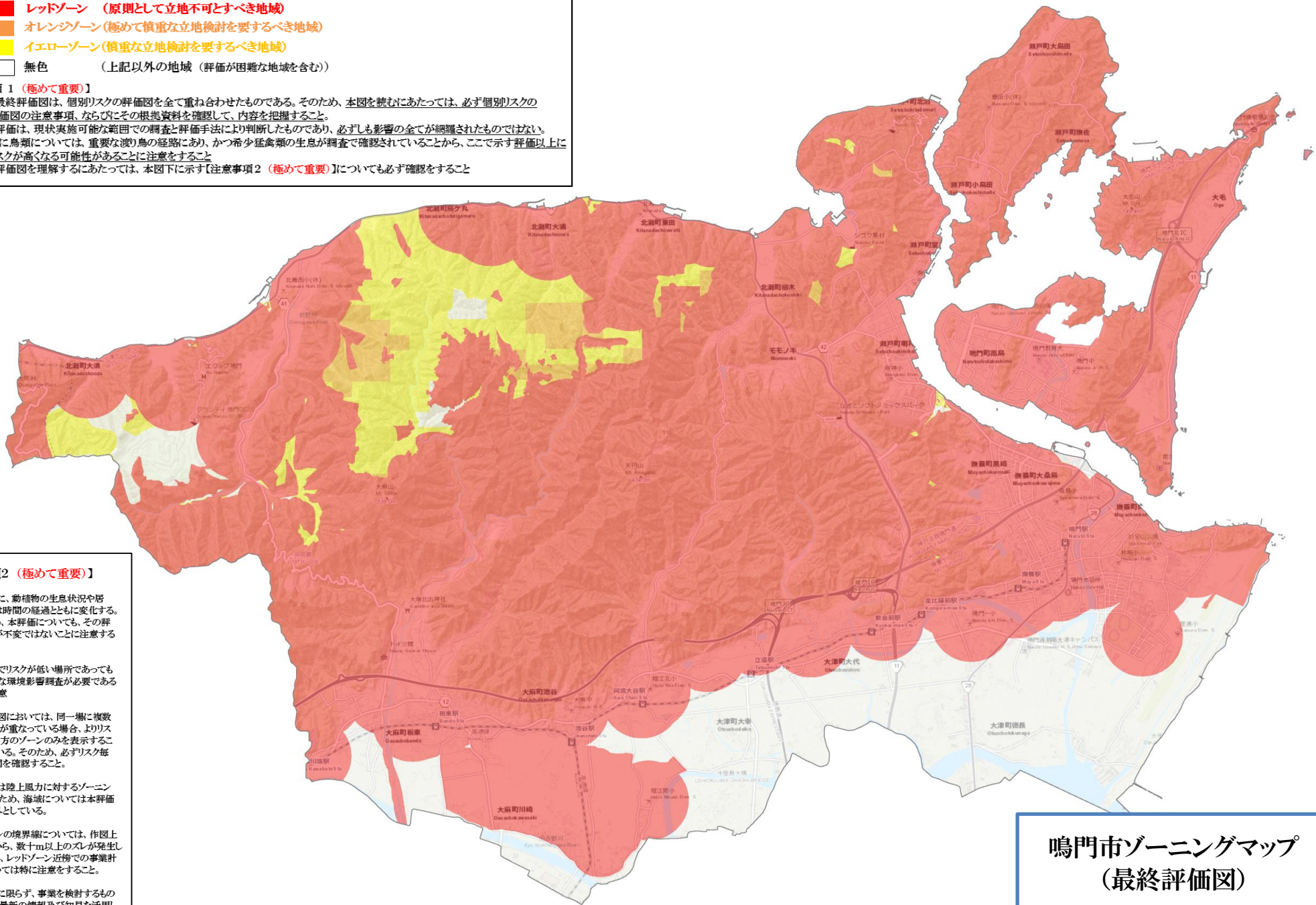
- レッドゾーン (原則として立地不可とすべき地域)
- オレンジゾーン(極めて慎重な立地検討を要するべき地域)
- イエローゾーン(慎重な立地検討を要するべき地域)
- 無色 (上記以外の地域 (評価が困難な地域を含む))

【注意事項 1 (極めて重要)】

- (1) 本最終評価図は、個別リスクの評価図を全て重ね合わせたものである。そのため、本図を眺むにあたっては、必ず個別リスクの評価図の注意事項、ならびにその根拠資料を確認して、内容を把握すること。
- (2) 本評価は、現状実施可能な範囲での調査と評価手法により判断したものであり、必ずしも影響の全てが網羅されたものではない。特に鳥類については、重要な渡り鳥の経路にあり、かつ希少猛禽類の生息が調査で確認されていることから、ここで示す評価以上にリスクが高くなる可能性があることに注意すること
- (3) 本評価図を理解するにあたっては、本図下に示す【注意事項 2 (極めて重要)】についても必ず確認すること

【注意事項 2 (極めて重要)】

- (1) 一般的に、動植物の生息状況や居住状況は時間の経過とともに変化する。そのため、本評価についても、その評価内容が不変ではないことに注意すること。
- (2) 本評価でリスクが低い場所であってもより精緻な環境影響調査が必要であることに注意
- (3) 本評価図においては、同一場に複数のゾーンが重なっている場合、よりリスクが高い方のゾーンのみを表示することとしている。そのため、必ずリスク毎の評価図を確認すること。
- (4) 本評価は陸上風力に対するゾーニングであるため、海域については本評価の対象外としている。
- (5) 各ゾーンの境界線については、作図上の関係から、数十m以上のズレが発生し得るため、レッドゾーン近傍での事業計画については特に注意すること。
- (6) 本評価に限らず、事業を検討するものは、必ず最新の情報及び知見を活用して検討を行うこと。



**鳴門市ゾーニングマップ
(最終評価図)**

・ 本評価図は、ESRI社のArc GISを活用し作成。背景図の出典元は右記を参照のこと
 ・ 本評価図を参照するにあたっては、別紙「根拠資料(概要)」の内容を必ず確認すること

Sources: Esri, HERE, DeLorme, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community